



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第25号



2013 / APRIL

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

新築移転へ向けて

東大宮総合病院 院長 坂本 嗣郎



イメージ図

平成25年度に入り東大宮総合病院では新病院移転に向けた準備を本格的に取り進む時期を迎えています。診療体制においても新たに8名の医師を招聘し、より専門性を磨き地域医療連携に貢献すべく努力しているところです。

新病院では、「①がん診療の専門医療機関、②生活習慣病を中心とした予防医学の推進、③いつでもかかる救急医療機関」を実現し、地域医療連携を強化することで、市民に親しまれる地域中核病院を目指します。がん診療については、放射線治療、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設し埼玉県がん診療指定病院として必要なハードの充実を図ります。また、救急部門においてもERセンター・ICUを整備して重症患者受け入れ態勢を構築する予定です。手術部門については、手術室3室から6室へ増やし、腹腔鏡による「きずの小さな低侵襲手術」も積極的に行っていく予定です。

これからも、東大宮総合病院は地域の皆様から信頼され必要とされる病院となる為に、日々成長するための努力を惜しまず、新たな挑戦を続けていきたいと考えています。今後とも変わらずご支援・ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

診療科だより

消化器チーム



消化器内科部長 / 内視鏡センター長

かしま ひろまさ

副院長 風間博正

救急対応もお任せください

内視鏡治療チーム

幅広い内視鏡治療の主なものとして、食道静脈瘤に対するEIS(内視鏡的硬化療法)やEVL(内視鏡的静脈瘤結紮術)、出血性胃潰瘍に対する止血術、消化管腫瘍に対するポリペクトミー、EMR(内視鏡的粘膜切除術)、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)、総胆管結石では採石術、胆管閉塞に対するステント留置術、消化管狭窄に対するバルーン拡張術やステント留置術など多岐にわたります。

夜間でも、消化管出血に対する内視鏡的止血術、急性閉塞性化膿性胆管炎に対するERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)、ステント、ドレナージ等、緊急内視鏡の対応をしています。

平成24年からは本格的に食道・胃・大腸のESD治療を強化し、これまで約130症例を施行しています。合併症もなく粗大病変を含め、すべて治癒切除しています。今後も、迅速かつ的確な治療を心がけてまいります。

日本肝臓学会専門医が3名在籍

肝臓治療チーム

平成23年に肝臓専門外来をはじめています。現在当院には日本肝臓学会認定肝臓専門医が3名と肝胆膵外科高度技能専門医、放射線科専門医がこのチームに在籍しています。

毎週検討会を行い、積極的な肝がん治療(外科切除、ラジオ波焼灼術、肝動脈化学塞栓療法、全身化学療法など)や肝炎治療(インターフェロン、抗ウイルス薬など)を行なっています。患者さんごとの状態にあわせた最適な医療の提供ができるよう努力しています。肝疾患に関して、まずはお気軽に肝臓専門外来にご相談ください。

最新の治療が行える体制があります

炎症性腸疾患治療チーム

当院では現在炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の患者さんが、約120名来院されています。5-ASA製剤、栄養療法を中心に、血球成分除去法(G-CAP療法、L-CAP療法)、生物学的製剤(レミケード、ヒュミラ)による治療、免疫調整薬(タクロリムス、イムラン)による治療など、最新の治療が行える体制が整っています。

強い結束力の消化器チーム

それぞれに専門性を持たせ、全体を共有するように指導しています。チームのまとまりは大病院に勝るとも劣らず、スタッフも含め強い結束力で結ばれていると自負しております。

新病院移転に伴い、消化器専門医も大幅に増員を予定しています。埼玉県で最大級の規模となり得る約500平方メートルの内視鏡センター(7列)を有することで、年間およそ2万件の内視鏡検査・治療を目標としています。この消化器チームは常に最新の検査と治療を心がけ、地域の患者様が快適で質の高い治療が受けられるよう、全力を尽くしたいと思います。



当院では消化器チームとして、現在11名の専属医のもとで日々の診療に取り組んでおります。また、日本消化器病認定施設、日本内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設であり、医師及びスタッフの育成にも力を入れております。消化器疾患すべてを扱い、診断から治療まで迅速に行う中で、日々最新の検査治療を心がけて取り組んでいます。

より良い病院を目指して

■□■ 医療チームの取り組み ■□■

多種多様な医療スタッフがそれぞれの高い専門性を活かし、目的と情報を共有し、患者様の状況に的確に対応した医療を提供する「医療チーム」をご紹介します。

●褥瘡対策チーム

このチームでは、院内の褥瘡（床ずれ）発生を予防し、既に発生した褥瘡に対して最適な治療を行うための活動を行なっています。高齢化社会となった昨今、高齢者は数日間寝込むだけで褥瘡は容易に発生してしまい、一旦発生すると治癒するまで数ヶ月を要することも珍しくありません。

褥瘡対策チームでは、医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士など様々な職種が協力し合い、「褥瘡をつくらない」「早く治す」ための活動を行います。マットレスの選択をはじめ、栄養状態の改善やリハビリによる身体機能の回復に務める他、既に褥瘡のある方には、定期的な褥瘡回診とカンファレンスで治療方針を確認します。病棟スタッフとの連携を図り、定期的な勉強会を開催することでケアのレベルアップに努めています。

今後は院内活動のみならず、在宅での療養生活にも役立つ活動を目指していきたいと思っております。

皮膚・排泄ケア認定看護師 藤屋聡子



●緩和ケアチーム



緩和ケアチームでは、主にがんによる様々なつらさに対し、医師（身体症状を診る医師、精神科医）、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどいろいろな職種がチームとなり、つらさの緩和を目指しています。入院中の患者様のベッドサイドに出向き、その都度お話をうかがいながら、主治医の先生と協力し診療に当たっています。また、緩和ケアが必要となる患者様は、病院だけでなく在宅にも沢山いらっしゃいますので、自宅でも安心して暮らせるよう、地域で訪問診療をしているクリニックの医師や訪問看護師ともネットワークの輪を広げる取り組みもはじめました。

まだまだ、微力ではありますが、地域にお住いのがん患者様が住み慣れたこの地域で安心して暮らせるよう体制を整えていきたいと思っています。最後になりますが、緩和ケアに関するご相談がありましたら、遠慮なくがん相談支援室までお申し出ください。

緩和ケア認定看護師 佐山順子

■□■ 平成 25 年度新入職者 ■□■

今年度は 45 名の新入職員（薬剤師 5 名、放射線技師 1 名、臨床検査技師 1 名、理学療法士 2 名、言語聴覚士 1 名、管理栄養士 1 名、臨床工学技士 1 名、看護師 25 名、事務 5 名、MSW 1 名、保育士 2 名）が、研修を経て、各業務にあたりております。まだまだ未熟な新入職員ですが、東大宮総合病院の一員となって頑張っています。これからよろしく願います。



健康講座



◎次回のご案内

日時：平成25年5月23日(木) 午後2:30～4:30

場所：東大宮コミュニティーセンター

主催：東大宮総合病院 保健活動委員会

協賛：大砂土東地区自治会連合会

テーマ：1. 沈黙の臓器 肝臓の病気とつき合う 講師：神田大輔（総合診療科・部長）
2. 目はよく見えますか？目の病気について 講師：平松 類（眼科・科長）

参加ご希望の方は前日までに予約をお願い致します。総合案内へお声がけください。

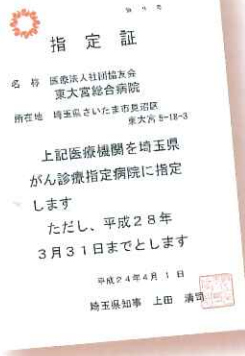
当院では昨年8月より、地域のみなさまの健康維持・増進のための知識や技術を伝える目的として、主に大砂土東地区の住民を対象に、当院スタッフによる健康講座を開催しております。

これまでに3回開催しており、参加された方々へのアンケートを参考に、開催時間を変更した結果、たくさんの方々が参加できるようになり、前回2月に行われた時には、100名を越す参加人数となりました。参加された方々からは、積極的な質疑応答の場面も見られ、地域の方たちとの交流の場が作れたと実感しました。今後も定期的な開催を予定しております。皆さんも是非ご参加ください。

(保健活動委員会 看護部 矢内悦子)



当院の 数字アラカルト



平成24年度は当院にとって待望の「埼玉県がん診療指定病院」の認定が4月に取得することができました。5大がん及びその他のがんの治療症例数増加への取り組みとして、地域連携の強化などにより、入院がん患者数は237件増の666件(前年比より55.2%増)、化学療法延べ処方件数は207件増の965件(前年比27.3%増)、がん相談件数は284件増の555件(前年比104.8%増)となりました。また、医科・歯科合わせての紹介患者数は1,007件増の6,233件(前年比19.3%増)という結果が出せました。

しかし、救急受け入れ体制については、夜間救急専用ベッド4床を全日フルオープンが出来なかったため、引き続き今年度も取り組んで行かなければならないと考えています。

外来患者数	664.9人/日
入院患者数	289.5人/日
在院日数	16.0日
ベッド稼働率	91.4%
救急件数	299.8件/月
手術件数(全麻・腰麻)	126.3件/月
心臓カテーテル検査件数	33.9件/月
内視鏡件数	563.6件/月

平成24年1～12月平均

編集後記

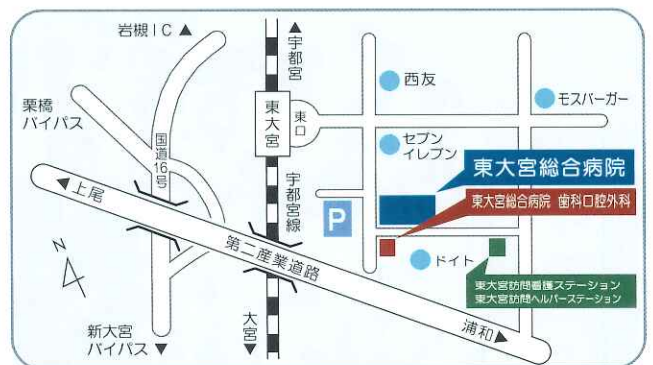
いよいよ新築移転へ向け、電子カルテの導入や、救急科の新設、緩和ケア病床の設置など基盤づくりが始まります。地域への貢献を念頭に、職員一丸となって邁進して参ります。

医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18
TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分